

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	3	1	・まれに過密になる。 ・活動の内容によって部屋を分けて活動することがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	7	1		・児童指導員の常勤職員を3名配置している。パート指導員も増員している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	2	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	5	3		・事業所内研修にて常勤・非常勤職員と一緒に話す時間を作る。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2		・評価表の内容を定例会内で報告し、改善目標について話す機会を作る。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	3		・ホームページで公表していることを周知する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	2		・パート・アルバイトも対象にしてほしい。 →パート職等にも研修案内をする。時間が合わない場合は動画視聴や資料配布にて対応する。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	1		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	3		・活動に使用するツールをみんなで考える時間を作る。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	2	1	・担当制にしている。 ・パート・アルバイトも参画できる様に指導育成する機会が少ない。 →ジョブ会議をパート職員も参加できる時間で開催する。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・個別での目標と集団時の目標を立てている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	3	1	・役割分担はその時と場合により変えることがある。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	3	2	・ジョブ会議の回数を増やすなどして振り返りの時間を作る。

⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	・モニタリングを行っている。 ・日報に簡潔に児童の様子を記録している。後で読み返ししやすいようにしている。
---	--	---	--

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等サービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	3		・支援計画、モニタリングの内容を常勤職員だけではなく、パート職員にも回覧して周知する。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	6	2		
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	3		・サービス担当者会議の機会が少ないが、機会がある時は児発管だけではなく、他の職員も同行してもらうようにする。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	2		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	4	2	・医療的ケアが必要な児童の受け入れをしていない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3		・中高生対象のため、中々機会がない。小学生対象のひがしやまスマイルハウスとは情報共有ができている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等サービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	3		・相談員のモニタリング時に対象児についての情報を伝えている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	2		・発達センターの研修に参加している。 ・訪問研修を依頼している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	1	・課外活動として太鼓教室を開催。発表の機会を作っている。 ・毎月第一土曜日にスマモグ食堂(こども食堂)を開催している。その時に外部の人と活動する機会を作っている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	2		・参加の機会がある時は参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1		・面談や保護者交流会を行っている。 ・LINEにて保護者とのやり取りがある。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	2		・ペアレントプログラムを開催している。 ・不定期ではあるが、勉強会を開催している。
保護者への説明	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7	1		・契約時に説明をしている。又、問い合わせがあれば随時、管理者が説明対応している。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		・主に面談時に機会を作っている。 ・必要であれば相談員に報告して助言を得ている。

責任等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	2	・交流会やランチ会を行っている。
-----	---	---	---	---	------------------

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1		
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	1		
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	8			・特に気になる点は見られません。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3		
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	3		
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	3		・地震発生時の教室内の行動につき年1ぐらい訓練を行ってもよいのでは →年2回の防災イベント・避難訓練の内容に参加できなかったパート職員にも共有する。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	3		
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	4		
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	3		
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		・車運転で事故になりそうなヒヤリハット地点を地図に示す(マークする)などの情報共有の工夫をすればベターだと思う。 →ヒヤリハットで車関連のことである場合、地図を添付して分かりやすくする。